

# 教師による大規模災害後の子どもへの支援 — 学校教育相談の新しい展開 —

東日本大震災で被災した児童生徒や教師への支援を行ってこられた  
**日本教育大学院大学 大野 精一教授**をお招きして、講演と  
個別相談をしていただきます。



## 【略歴】

昭和 46 年 4 月～ 平成 18 年 3 月まで都立高校の高校教諭  
平成 18 年 4 月～ 日本教育大学院大学教授

一般社団法人学校心理士認定運営機構（理事・事務局長）  
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（理事）  
日本学校心理学会（副理事長・研究委員会委員長）  
日本学校心理士会（東日本大震災子ども・学校支援チーム事務局長）  
千葉県白井市いじめ対策調査会（委員）

## 講演の概要

我が国では、地震、津波、台風、土砂崩れ、火山噴火など、大規模な自然災害が随所で起きている。このような自然災害で被災した子どもの心理・社会面、学習面、行動面などの問題からの回復に対して、学校は極めて重要な役割を果たしている。そして、常に学校で子どもたちと接している教師は、問題の発見やその対応のみならず、予防的な支援も求められている。また、災害の後、3～4年後に問題が顕在化することがあるため、長期的な支援も求められている。

本研修会は、教師自身のケアも含め、教師は学校で何ができるのか、何をすべきかについて、学ぶ機会を提供するものである。

## ■ 日程：2014年12月23日（火・祝）

### ■ スケジュール：

13:30～15:30 講演

15:45～16:30 被災児童生徒にかかわる個別相談  
（申込先着順）

### ■ 場所：サテライトキャンパスひろしま 502号室

（広島県民文化センター5階）

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3

※エディオン本館から南へ約100m

### ■ 参加費：無料

■ 申込方法：氏名、所属、職名、連絡先、個別相談の有無を記載の上、メールまたはFAXでお申し込みください

■ 申込・問い合わせ先：メール sphrsm@hiroshima-u.ac.jp FAX 082-424-7195

■ 申込期限：2014年12月17日（水）

● 主催：日本学校心理士会広島支部、広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター

● 後援：広島大学大学院教育学研究科、広島県教育委員会(申請中)、広島市教育委員会(申請中)

